広げよう！子育ての輪

おさなごの心の故郷として二十年！

次世代を担う子どもたちに、お母さんの手作りの温かさで、心に残る民話を伝承していきたい。そんな思いの仲間が集い、昭和63年6月にボランティアグループ「人形劇団あっぷりけ」が今津図書館から産声をあげました。今年で20年を迎え、人形劇、影絵、ペープサート、紙芝居、パネルシアターなど36作品が誕生しました。

県内の図書館、保育園、幼稚園、小学校（低学年対象）、福祉施設、子育てグループ、老人会やイベント会場などへ出かけ、公演数も212回を数えます。仲間10人が毎週水曜日、高島市働く女性の家に集まり、午後8時から10時まで制作や練習をしています。日本や世界の民話、滋賀県や今津の昔話のほか、最近では環境問題にも取り組んでみました。公演の度に、観客席から、笑い声や熱い声援が聞こえ、嬉しくて、とても幸せになります。今、仲間とともに20周年を迎えられたことに深謝し、今後一人でも多くのお客さまと、活動できる仲間に出会えることを願って公演活動を続けます。

子育てのチョッといい話

息子よ、明日は何をしようか？

我が家の1歳10か月児は、ごはん粒を鼻の穴に詰める事に夢中。そんな彼が生まれてからというもの、私の心も生活もとても忙しくなった。1日の間にどれだけ気持ちが変わることがあるか。いや、1時間でもコロコロと変化する。なかなか思うように事が進まずイライラ!! でも、次の瞬間、何気ない我が子の行動や笑顔で大笑いしたり、癒されたり…。かと思えば、また「もう！」と言いたくなったり、頭突きされて涙ぐんだり…。私自身、大人になってからというもの、それ程落ち込む事も、大喜びする事もなかったのに、そんな生活から比べれば、嘘のように変化に富んだ日々。

「私の中にこれだけ感情があったのか！」と思う毎日を過ごしている。どうやら、私が忘れていた大事な事を、この1歳10か月児が思い出させてくれているようだ。これから、この子がどんな私を引き出してくれるのか？ また、私の心をどれだけカラフルに色づけてくれるのか？ とても楽しみな毎日だ。

さあ、息子よ、明日は何をしようか？

＝子育て支援センターへの問い合わせ＝

- ●マキノ地域（マキノ児童館内） ☎(27)8187
- ●今津地域（今津東保育園内） ☎(22)4833
- ●朽木地域（朽木保育園内） ☎(38)2070
- ●安曇川地域（古賀保育園内） ☎(33)1540
- ●高島地域（高島保育園内） ☎(36)0660
- ●新旭地域（大師山さくら園内） ☎(25)3399

子どもをまもる シリーズ ⑦

あなたの言葉、届けてください

～子ども虐待問題を、みんなで考えよう！～

子ども虐待を無くすための大きな力として「関心を持つ」という力があります。家族や地域のつながりが薄くなればなるほど、おせっかいや気遣いがなくなるほどに、子ども虐待が発生しやすい環境は拡大します。

そこで、市では昨年度から子ども虐待問題への関心を持ち、虐待防止の意識を高めてもらうことを目的として、7月1日から7日を「子ども虐待防止推進週間」と定めて、講演会や広報などの啓発活動を行っています。

今回、その一環として次のとおり標語の募集を行います。

一昨年に起こってしまった子ども虐待による死亡事件を決して忘れることなく、子どもたちが安心して安全に暮らせる地域を創るために、あなたの言葉を届けてください。

▼テーマ

子ども虐待問題を市民みんなで考えていくためにふさわしい標語

〈参考／昨年の作品〉

「泣き叫ぶ　心の声に　すくう手を」

「しつけです　そんなしつけが　ありますか」

▼応募方法

郵便、Eメール、またはFAXで、作品、住所、氏名、年齢を記入して事務局（子ども家庭相談課）までお送りください。

▼応募締切

7月7日（月）（当日消印有効）

▼応募上の注意

・応募は一人一作品に限ります。

・ご自身で創作した未発表の作品に限ります。

・応募作品は、返却いたしません。

▼著作権

著作権は主催者に帰属します。

▼標語の活用

・応募いただいた標語は、市が行う広報・啓発活動において幅広く活用します。

・厚生労働省が実施する「児童虐待防止推進月間」標語募集に応募します。（8月下旬募集予定。全国の応募作品中一作品が最優秀作（厚生労働大臣賞）として選定されます。）

▼主　催　高島市、高島市教育委員会

問・申　子ども家庭相談課（事務局）

☎(25)8517　FAX(25)5490

✉kodomo@city.takashima.shiga.jp

子ども虐待防止啓発標語 ⑦

「気づいてよ　子どもはあなたを　待っている」

（マキノ中学校3年　久保田　真美さん）